

事業番号	事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業費	所管課名	保健福祉課	令和 3 年度課長名	安道 智秋
24172	政策名	1 ころあたたかい福祉の里づくり	係名	介護保険係	担当者・シート作成者	井手 俊文
	施策名	14 高齢者福祉の推進	根拠法令等	介護保険法(平成9年法律第123号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	社会福祉協議会(地域包括支援センター)と委託契約し、負担行為を行い、年度末に支出行為を行う。	平成27年の介護保険法改正により、地域支援事業において地域リハビリテーション活動支援事業が開始した。理学療法士の確保ができたことから平成28年度から事業を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 65歳以上の町民	ア 65歳以上の町民人口	人	見込	4,727	4,689	4,651	4,613	4,670
			実績	4,747	4,757	4,726		
イ	イ		見込					
			実績					
ウ	ウ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 介護予防の取り組みを支援する	ア ハツラツサークル開催箇所数	箇所	目標	50	50	50	50	50
			実績	59	59	59		
			達成率	118.0%	118.0%	118.0%		118.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 契約の締結	ア 契約回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 事業費の支払い	イ 事業費支払い回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 24 款 05 項 01 目 02			大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号										
	介護保険特別会計(保険事業勘定) 地域支援事業費			介護予防・日常生活支援総合事業費		地域リハビリテーション活動支援事業費															
1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	前年比										
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込										
国庫支出金	878	878	878	742	742	国庫支出金	790	820	878	742	742	57									
県支出金	383	383	383	371	371	県支出金	345	358	383	371	371	25									
町債	0	0	0	0	0	町債	0	0	0	0	0										
その他特財	1,421	1,421	1,211	1,172	1,172	-210	その他特財	1,278	1,327	1,210	1,172	1,172	-117								
一般財源	383	383	593	682	682	210	一般財源	345	358	593	682	682	235								
合計	3,065	3,065	3,065	2,967	2,967		合計(A)	2,757	2,864	3,064	2,967	2,967	200								
財源名称	地域支援事業国庫交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)					従事正職員人数	1	1	1	1	1										
	介護給付費支払基金交付金					延べ業務事務時間	4	4	4	4	4										
	地域支援事業県費交付金(介護予防・日常生活支援総合事業)					人件費計(千円)(B)	14	13	13	14	14	0									
	最終予算額		3,065 千円		予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)	2,771	2,877	3,077	2,981	2,981	200								
主な支出事業内容(予算)	委託料(物)					3,065 千円					主な支出事業内容(決算)	委託料(物)					3,064 千円				

事業番号	24172	事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	--------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成27年の介護保険法改正により、地域支援事業において地域リハビリテーション活動支援事業が開始した。理学療法士の確保ができたことから平成28年度から事業を開始した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
理学療法士を確保し、地域包括支援センターに配置、ハツラツサークルや総合事業で実施指導がおこなえるようになった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
介護予防に取り組み、いつまでも健康な体でいたい。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 生涯にわたる健康づくりと介護予防の仕組み作りに該当し、政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 介護保険法に規定された事業であり、町が保険者として高齢者福祉の推進のために実施するものである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 介護保険法に規定された事業であり、対象と意図を見直す余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 介護予防に必要な専門職である理学療法士が確保できている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 医療費や介護給付費の上昇を抑制する意味でも、介護予防に必要な理学療法士等専門職の配置について廃止や休止をすることは適切ではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 介護予防に必要な専門職である理学療法士が確保できている。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業費は必要最低限であり、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 業務時間は、必要最小限であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 介護保険法に定められた者を対象としており、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	地域の通いの場(ハツラツサークル)や総合事業に理学療法士が出向き指導をおこなっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 通いの場を広げていくための施策を検討する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								